

教室掲示  
お願いします

# SSH 通信

第1号  
平成29年5月30日発行  
編集：Ⅱ年5組SS委員

## 先端研究実習「地学実習」 地質調査の基本を学ぶ

先端研究実習は、研究者から直接指導をいただきながら実験や実習を行うプログラムで、物理、化学、生物、地学、数学の5分野で実施されます。第1回目は、地学でした。5月15日（月）、Ⅱ年5組の生徒4名が参加しました。

### テーマ

「元宇品の自然・調査の進め方」

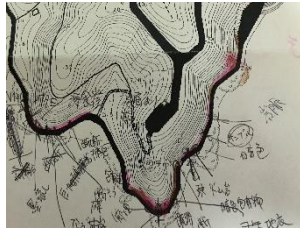
### 指導者

広島大学大学院教育学研究科

吉富健一 准教授

### 1. 元宇品の概観

本校から南へ自転車  
20分のところにある元宇品では、主に2種類の岩石が見られます。細かい硬い岩、目が粗くもろい岩です。どちらも花崗岩（かこうがん）で、中国地方に広く分布しています。（写真：元宇品のルートマップ：ピンクが目の粗い花崗岩、茶が目の細かい花崗岩）



### 2. 様々な地形と貫入体

#### ①暗色包有物（捕獲岩）



花崗岩中に含まれる異種の岩石片です。境界が不明瞭なので、マグマが冷える時に別のものが混じって形成されたと考えられています。写真（赤線で囲まれた部分）では捕獲岩中に斑状組織と等粒状組織が同時に見られ、とても珍しい現象です。

#### ②岩脈

花崗岩中に別のマグマが貫入して急冷されてできたものです。冷えた岩脈は体積が減少し、横に多くの割れ目が入っています。



#### ③節理

花崗岩が風化し、直方体状に割れ目の入ったものです。

#### ④墨流し構造

花崗岩中に見られる墨流しのような模様です。周りには大きな結晶からなる巨晶花崗岩（ペグマタイト）が見られます。



#### ⑤断層

地層のずれです。写真ではクリノメーターを使って断層の走向と傾斜を測定しています。

#### ⑥海食崖（かいしょくがい）

海岸に突出した花崗岩が波に浸食されてできた盆を水平に重ねたような地形です。元宇品では高さ10メートルほどの高さまであり、なぜこれだけの高い位置に形成されたのかはよく分かっていません。



地質調査では①～⑥の事実を集めるだけでなく、それらをもとに、地球内部でいつ、何が起こったのかを推測し、地球の活動に迫ることが大切であることを教わりました。今回の実習は、その入口を体験しました。

### 感想

先生がおっしゃられた、本などで得た知識と実際に見たことを結びつけることが大切ということが印象に残った。今回の実習では多くのものを目にしたので、この経験を生かして、知識だけの一人前にならないように日頃の学習や課題研究に取り組んでいきたい。

### 編集後記

地形・地質は、私たちに身近でありながら、それに気づかないで過ごしていることが多いと思います。今回のSSH通信で、少しでも身近な地形・地質について興味を持ってもらえたら、身近な地形・地質に関する新たな発見があるかもしれません。（SS委員）